

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プライマル・レイジ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プライマル・レイジ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：プライマル・スクリーム

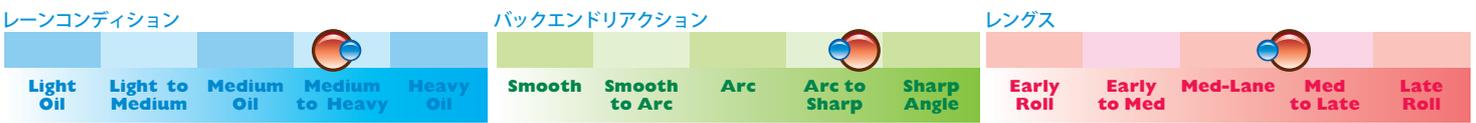
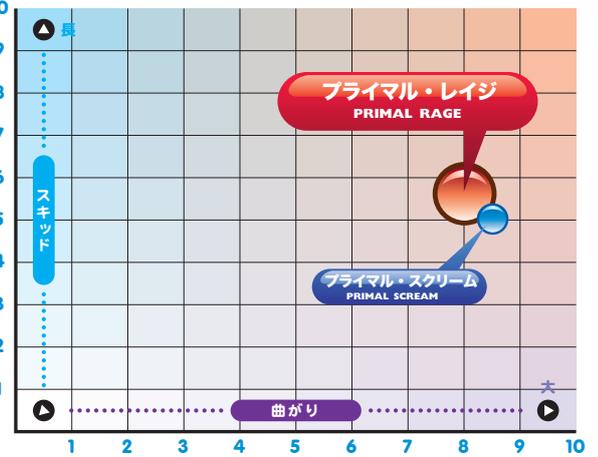
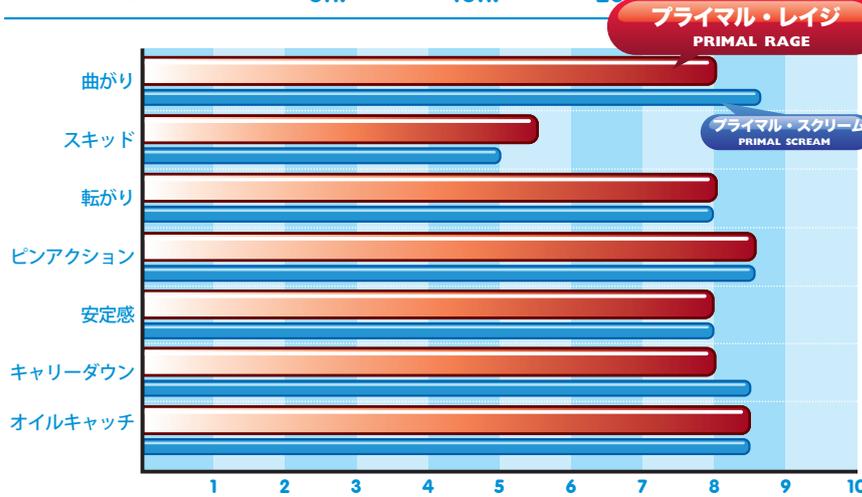
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Jake Peters選手がPBAツアーで初優勝を成し遂げた、当時MOTIV社でも未公開のそのボールは圧倒的なポテンシャルを発揮し、PBAボウラーの間でも「今までで一番良いボールだ!」という賛辞を受けることとなりました。

日本でも人気の高かったPRIMAL SCREAMと同じバックエンドモーションを意識させるImpulse V2コア、MOTIV社最大のフリップ力を感じさせる新開発“Fusion Pearl Reactive”、このPRIMAL RAGEは日本でも他社のボールを唸らせる性能だと確信しています。

今回のこのPRIMAL RAGEの特徴は、最大のフリップ力を感じさせる攻撃的なバックエンドの強さでしょう。新開発のFusion Pearl Reactiveはグリップ力の強いFusion Reactiveをベースに、コア形状の特性を強くリアクションとして発揮できるように意識した故のPearlバージョンで、キャッチの中にもスキッドが活かされ、バックエンドで強く向きを変える攻撃的な性能が信条として感じられます。私は以前から“PRIMAL”に使用されているダイナミックなImpulse V2コアのポテンシャルを気に入っていました。コアの特性が手前から強く捻れるというよりは、奥で強い捻れをもつ特性とキャッチの強いカバーとのマッチングは非常に興味深く、カバーの強さ加減で曲がり始めを手前や奥に調節しやすく感じるからです。今回のPRIMAL RAGEは、キャッチを殺さずPearl配合でスキッド力を確保、バックエンドでImpulse V2コアのポテンシャル如何なく発揮しますので、奥の曲がり強くでて当然のカバーストックとコアのバランスだと思います。

PRIMAL SCREAMを使い、バックエンドの動きが気に入っていた方、今回のPRIMAL RAGEもバックエンドの動きには定評がありますので是非お試しください。

特記事項

PRIMAL最新作はPBAツアーで優勝ボールとして紹介された、発売前から評価の高いボール。数量限定で即日完売のおそれがあります。オーダーはお早め!